

ともいき通信

Vol.14

■発行元
認定 NPO 法人
人と動物の共生センター
2020.7月発行

『ともいき通信』は、人と動物の共生センターに協力してくださっている方とセンターを繋ぐニュースレターです。人と動物の共生センターの活動の様子を、会員や配布先の皆様にお知らせしております。

**ホンマでっか!?TVに、
理事長奥田が愛犬のさぶちゃん
と出演しました!**

自粛生活で犬とす
離れると鳴くよう



獣医動物行動学・奥田先生によると

**器で簡単にゴハンをあげるのではなく
食べにくいなどの工夫をするだけで運動**

HONMADEKKA!? SUPPORTCENTER

ONELife チャンネル開設!

■活動報告

- ・動物福祉と倫理セミナー
- ・活動状況と今後の活動方針
- ・2019年度収支報告
- ・それぞれの思い
- ・ご支援くださった皆様
他



認定 NPO 法人

人と動物の共生センター



コロナ禍を 変化と成長の触媒に

認定NPO法人 人と動物の共生センター 理事長 奥田順之

2019年末より世界中で猛威を振るっている、新型コロナウイルス感染症。本稿執筆時現在、全世界で680万人以上の感染が確認され、40万人の方がお亡くなりになりました。世界各地でロックダウンが実施され経済的にも非常に大きな打撃を与えました。影響を受けたすべての皆さまにお見舞い申し上げます。

日本では、5月後半から徐々に日常生活を取り戻していく段階に入っています。とはいえ、新しい生活様式として、マスクを装着する、ソーシャルディスタンスを取る、三密を避けるなど、馴れないことも多くあります。

当団体でも、4月18日～5月6日まで、犬のしつけ教室 ONELife の営業を自粛し、5月31日までグループレッスンを中止した縮小営業を行ってきました。6月1日以降も、密を避けるために、レッスン定員を縮小し、参加者各組の距離が2M以上空けられるようにして営業を行っています。レッスン中もマスクをしているため、トレーナーが発声がしにくい状況で、拡声器を使って指導を行うなど、工夫を行っています。

新型コロナウイルスの存在は、テレワークや、ビデオ会議の普及に大きな影響を与えました。今まで東京中心だった物事が、一気に、東京でなくてもいい状態になったように感じています。社会の動きを加速させる材料になっていると思います。当団体においては、以下のような変化をもたらしました。

1. ONELife チャンネルの開設

これまで、必要性は感じていたものの、実行できていなかったWEBセミナー。4月1日より月額定額制の会員向けセミナー ONELife チャンネルを開設することができました。月額1980円で、毎週1～3コンテンツを配信しています。これまでにリーチできなかったステークホルダーに対して、情報を届けることができています。

2. オンライン行動カウンセリング&診療の実施

全国各地で問題行動に悩む飼い主さんからの相談を

受け付ける、オンライン行動カウンセリングの運用を開始しました。また、これまでの診療でも、県をまたいで来院されている方も少なくありませんでしたので、再診について、必要に応じてオンライン診療を実施しております。

3. 各種企業等との打ち合わせのオンライン化

これまで、遠方の企業との打ち合わせは、対面で行っていたことが多かったのですが、ビデオ会議のハードルが下がったことで、むしろ気軽に、互いに負担なく、打ち合わせを行うことができるようになってきました。ペットショップへの提案についても具体的な形としてかかわることができるようになってきました。

このように、当団体に関わる領域においても、新型コロナウイルスが変化の触媒となり、社会の動きを加速させていることを実感しています。そして、それは、無意識に常識と思っていたことの変化を伴っています。今思えば、私自身、無意識に東京中心を肯定し、地方からは影響を及ぼしにくい、距離的ハードルがあると感じてしまっていたところがあったように思います。しかし、新型コロナウイルスによって、その無意識の前提が崩されたように感じています。WEBセミナーや、ビデオ会議によって、もはや距離は関係なくなっています。それは私の中の意識の変化ではありますが、きっと、多くの方がその思いを共有していると思います。

2020年度以降は、新型コロナウイルスだけでなく、新興感染症の蔓延のリスクを前提とした、組織運営、社会運営を考えていかなければならない時代に入らざるを得ないでしょう。時代に合わせて、人々の意識も変化し、常識も変化していきます。当団体も常に時代の一步先を見据えて行動していきたいと考えております。

尚、2019年度の報告と、2020年度以降の方針をまとめた、年次報告書を7月中に発行予定です。HP上に掲載いたしますので、是非ご一読ください。

会員制 web セミナー ONELife チャンネル開設



犬のしつけ／動物行動／動物福祉などのテーマを気軽に学べる、会員制オンラインセミナー配信プラットフォーム

今年4月より月々1980円の会費で、「保護犬のための行動学勉強会」「パピークラス | ONLINE」「オンラインしつけ相談会」などが受講できるWEBセミナーを始めました。さらに今年度特別企画として「動物幸福論」と題し、犬猫に限らず、広く動物福祉・共生・関係学について学ぶセミナーも実施します。今後も「犬遊学実践講座」や「犬との共生（ともいき）学」「保護猫講座」などの計画をしていますので、ぜひご参加ください。

おすすめ ポイント

- 月/1980円の会費で受講できる&いつでも退会可能で、気軽に参加できる！
- 録画配信もあるため、当日参加できなくてもOK！
- 動物の精神科医こと、獣医行動診療科認定医の奥田順之を中心に、行動学に基づく実践的レクチャーが満載！
- 無料体験期間があるので気楽に受講を始められる！
- 保護団体割・NPO割（月/980円）実施中！（詳細はサイトにてご確認ください）

保護犬のための行動学勉強会

保護犬のケアをしているボランティア、保護犬の飼い主さん、これから保護犬を迎えようとしている人向けに、行動学の知識に基づく保護犬とのかわり方についてお伝えする勉強会です。

「譲渡した後の、しつけのフォローが十分にできない、そのための人手と知識が十分でない」保護団体さんからいただいたそんな声に答えるために始めることにしました。是非、保護犬の里親さんに受講していただきたいセミナーです！

- 月1回開催（毎月第2土曜日 11:00～12:15 ※日程変更の場合あり）
- 保護犬とのかわり方、行動学に基づく実践的レクチャー
- 日々の保護犬との生活上の問題に関する質疑応答
- 録画配信があり、日程が合わなくても受講可能



パピークラス ONLINE

コロナ騒動の最中であっても、子犬の成長は待ってくれません！最も大切な社会化期はすぐに過ぎてしまいます。

ONELifeが行っているパピークラスの内容をオンラインでお伝えしようというWEBセミナーです。

基本的な飼育方法のレクチャーや、飼い主と行うハンドリング（ケアに馴染ませる練習）、他にも自宅付近での社会化トレーニングの進め方などもレクチャー致します。

- 毎週開催（毎週日曜日 13:00～14:00 ※日程変更の場合あり）
- 基本的な子犬の育て方のレクチャー
- トイレのしつけ、咬みつきの抑制、社会化トレーニング、ハウストレーニング、ハンドリング etc..
- 動画を使った、実際のトレーニング法
- 録画配信があり、日程が合わなくても受講可能



しつけ&行動学なんでも相談ラジオ

動物の精神科医こと、奥田順之先生に聞く！犬のしつけ&行動学なんでも相談ラジオ。日々のしつけの問題や、愛犬のお悩みなど、奥田先生にどしどし質問しちゃいましょう♪

これまでに配信したONELifeチャンネルの内容に関する質問もOKです。疑問質問、なんでも受け付けます。無料で相談しちゃいましょう★当日リアルタイムで参加できない方もテキストでの相談OKです。

聞き流していただけるような、ラジオのようなコンテンツとして配信できればと考えて、研究中です。ご質問だけでなく、ご助言もお待ちしております～♪

- 隔週水曜日の12:30頃（※日程変更の場合あり）
- 相談者・質問者は、当日ZOOMをつないでいただき、直接質問していただけます（ZOOM質問は、ONELifeチャンネル有料会員のみ）。テキストのみの相談は、どなたでも（非会員でも）お送りいただけます。相談・質問の概要をフォームから送信してください。
- ※ただし、質問多数の場合、すべての質問を取り上げることはできませんので、ご了承ください。

「動物幸福論」- 福祉、倫理、共生の視点から -

- 月1開催（月の後半の土曜日に開催予定 11:00～12:30）
 - 対象：動物福祉に興味ある方、動物に関わる仕事やボランティア活動をされている方
 - 目的：日々の仕事や活動の中に、動物福祉・倫理・関係学などの考え方を落とし込み、実践すること。
- こちらの内容の詳細は次ページをご覧ください。



▲しつけ&行動学なんでも相談ラジオ
質問・相談受付フォーム

登録方法

ONELife チャンネルでは「保護犬のための行動学勉強会」「動物幸福論 - 福祉、倫理、共生の視点から -」「パピークラス ONLINE」「オンラインしつけ相談会」の配信を行っています。下記 URL からご登録いただいた方に、すべてのコンテンツの配信情報およびアクセス URL をメールにてお送りさせていただきます。

<https://congrant.com/project/tomoiki/1521>

ONELife チャンネル
会員登録フォーム



2019年度 動物福祉と 倫理セミナー



動物福祉と倫理セミナーシリーズ(全4回)を終えて

文：鈴木恵美子

名古屋市東山動物園企画官である、上野吉一先生を迎えてのセミナーシリーズ「動物福祉と倫理」が12月2日に『環境エンリッチメントと動物の幸せ～動物が主体性と潜在能力を発揮するために～』、3月2日に『生きていることは、すなわち幸せなのか？～心身の健全性と生物学的幸福論、客観的判断と主観的判断の間で～』を開催し、終了を迎えました。3月にはすでに新型コロナウイルスの感染拡大の影響があり、オンラインでの開催となりましたが、急なことにもかかわらず多くの方にご参加いただきましたことを、心より御礼申し上げます。

セミナーを振り返って

今回、動物福祉とは一定の数値基準を決めることは不可能で、その状況下で出来る限り動物の心身の状態がより良いものになっているかを考えなくてはいけない、ということについて学びました。また、動物に対して「共感」することは、動物を人と全く同じものとして考えることではなく、目の前の動物を見て、起こっていることについて可能性のあることを幅広く想像する、というお話を伺いました。

それから、動物の生命を保つ終末医療、要介護など

の治すことができない状況への対応として、安楽殺についても生物の幸福的観点から触れていただきました。安楽殺とは、人が人の判断によって動物の身体的、心理的苦痛の強度あるいは時間を最小限にするために行う生命活動を停止させる処置であります。その判断基準が難しいことが課題です。全ての安楽殺の是非をチェックリストのように機械的に決めることはできません。動物の心身の苦痛が大きすぎることや、それ以降の十分な維持管理ができるかどうかなど、判断の正解はありませんが、その動物に関わる人全てが協議し、丁寧に合意しながら決めていくしかありません。安楽殺を一生懸命に考えた上で自身の決断を下すことは、少なくとも動物福祉の観点から言えば、見放すだとか、無責任だというような判断ではない、とのお話を伺いました。

4回の講義を受け、「あなたの考えは正しいです」「それは間違っています」というような正誤ある講義やディスカッションでなかったことが、より自分自身の考えの幅を広げる機会になりました。今後も関わる人たちと話し合い、その動物の本来持っている可能性を知り、その心にまで配慮していけるよう学び続けたいと思います。



学びは
終わらない！

動物幸福論

Enhancements of animals

上野 吉一

奥田 順之

セミナーシリーズ 『動物幸福論』

「動物幸福論」では、上野先生を話し手、奥田を聞き手として、月に1回ずつ、動物福祉・関係学を中心としたセミナーを配信いたします。継続して受講を希望される方は、ONELifeチャンネルにご登録ください。初回参加無料です。



2020年オンラインセミナー 『動物幸福論』開催！

昨年度開催した、「動物福祉と倫理」について、もっと深く、より詳細に『動物幸福論』が『ONELifeチャンネル』にて、始まりました！

動物の幸せって、何なんですか？動物を大切にするとってどういうことなんですか？

人と動物が共に暮らし、互いに幸せな関係を築くには、動物と向き合う、どんな認識が必要なんですか？

人と動物が共に暮らしていく上で、私たちが考えなければならない動物の福祉、倫理、関係、そして共生。それらの概念を用いて、人と動物とが共に暮らす世界で、私たち一人一人が動物をどう捉え、どう接していくのか。その先に、現場レベルにどう落とし込んでいくのか。

正解のない問いに対して、「正解」ではなく「考え方」や「判断軸」を共に考える勉強会です。

参加者の声

上野先生の講義は、人間と動物との関係の歴史、代表的な宗教と動物の関係、哲学と動物、動物倫理の歴史、動物福祉の誕生、動物愛護と動物福祉の相違点など多面的な解説で、とても充実したものでした。講義の終盤では、最後に動物を大切にすることとして「(客体として)動物『を』適切に飼育管理する」のではなく「(主体として)動物『が』健全な生活を送る」ことである、という重要なコンセプトが提示されました。後半の奥田先生との対談では「ロジックによって動物との関係を考えることは合意形成の上で大切だが、そのロジックは全世界の普遍的なものではなく、西洋の一神教的な価値観に基づいたものであることを頭に入れておく必要がある」との問題提起がなされました。参加の皆さんからの質問も射たものでとても勉強になりました。普段、ペットと一緒に暮らしていても、アカデミックな視点から人間と動物の関係を考えることは、まずありません。ペット以外の動物も含めて、より良い関係を築いてゆくためにどうしたら良いか考えてゆきたいので、セミナー全体が貴重な機会になりそうです。今後の配信もとても楽しみです。

(青山 研)

動物の倫理を個人が考えるにあたって必要な判断軸を作ることを目的に、第一回では上野先生から動物と人との関係性を歴史と文化の流れから説明して頂きました。倫理の元には複数の考え方があり、それらが混同していることが理解や議論を妨げています。つまり、動物福祉主義、動物愛護主義、動物権利主義、さらに各社会固有の文化観を分けて理解することが必要で、その上でそれぞれを重ね合わせることで自分に合う倫理観を持つことができるのではないかと感じました。そして、自分が属する様々な大きさの社会で、まず他者との違いを認め、その中で共有できる価値観を探す事が、前向きな議論に繋がると考えました。個人的には、福祉・愛護・権利などの考え方や文化は時代とともに変化していますが、その原動力の一つが科学だということに面白みを感じています。科学的知見による動物に対する理解の進歩が考え方や文化に変化を生み、その社会の倫理観が生まれていく。私は獣医師として動物の脳神経科学に興味を持ち研究をしたいと考えていたので、子供の頃からの疑問である、動物が何を感じ、何を考えているのだろうという問いの追求が、社会の倫理観の醸成に一役買えるのだという事にワクワクしました。自分が生きているうちには到底終わらない、考え続けなければいけない。追い求め続ける事ができる学問に出会えたことに感謝します。

(伊藤史哉)

これまでの活動状況と 2020年の活動方針



高齢者とペットの共生支援事業 —ペット後見互助会とものわ—

文：鵜海敦士

今日までの活動状況

ペット後見互助会とものわは、高齢の方が飼育困難に陥り、ペットが保健所に持ち込まれ、殺処分されてしまうことも少なくないという社会的課題を解決するため、2017年から個別相談を開始しました。現在までセミナーへのべ197名の方にご参加頂き、18件の個別相談を受け、うち2件の終生飼育契約を結びました。

2019年度の主な活動としては、①地域包括支援センターへの訪問・事業紹介・ヒアリング、②セミナーの運営とペット後見共同学習会の発足、③パンフレット改訂を行いました。

①地域包括支援センターでは1事業所あたり、高齢者とペットの問題で相談される件数は、年間0～2件程度とのことで、仮に相談があったとしてもすでに飼いつづけることが出来なくなっている場合がほとんどで、資金的にも余裕がない方がほとんどで、現状の当会で受け入れられる方は少ない印象を受けました。そのことから当会受益者となり得る方へのアプローチ方法を再検討する必要があると考えられました。

②飼い主向けセミナーと事業者向けセミナーを実施し、ステークホルダーが当会とどう関わる形が良いのか意見交換を積み重ね、継続的な勉強会や連携方法模索の場としてペット後見共同学習会を発足しました。

③日本郵便年賀寄附金助成金にて従来のパンフレットを一新しました。実際に利用される方を想定した登場人物を記し、物語調とすることでより具体的に理解しやすく、さらに暖かみのあるロゴマークやイラストにて手に取ってもらいやすいものに仕上げました。

2019年度の大きな変化

当団体は、2020年3月5日付で認定NPO法人として認可されたため、生命保険信託の第一受益者となることが可能となりました。このことより、ペット後見互助会とものわの大枠は完成されたものとなり、次の展開に進む段階となりました。

2020年度の活動方針

ペット後見互助会とものわは、困ってから相談するところというよりは、困ることに備えた仕組みのため、「困りごとを抱えそうな方を知っている方からの紹介」によって本当に必要とする人にリーチできると思われました。困りごとを抱えそうな方を知っている方とは、特にトリミングサロンや動物病院、ペットホテルなどのペット関連事業者、保護動物を譲渡する保護団体です。日常の業務や活動の中で将来的に飼育困難に陥る可能性がある方を直接認知しているため、具体的なフォローにも結びつきやすいと考えられます。

そこで、今年度からペット関連事業者を中心としたペット後見共同学習会を実施しています。現在参加者は12人で、今年はずでに3回実施しておりますが、当団体にはない視点からのご意見、それぞれの方がもつ経験談を踏まえ、毎回有意義な議論が交わされております。

議論する中で見えてきた課題解決の重要なポイントをまとめると、①飼育費用を遺すことの啓発・普及、②終生飼育費用の遺し方（仕組みとしてはほぼ完成）、③緊急時の保護計画、④様々な状態・状況の動物がいる中での飼育管理方法、⑤譲渡する場合の仕組みづくり、⑥他事業者との連携方法で、1つ1つの課題に対し事例を積み上げ、全国の方が利用できる仕組みとなるよう展開していきます。

共同学習会への参加は随時募集しておりますので、参加ご希望の方は事務局までご連絡いただくか、下記QRコードを読み取って申請ページへお進み下さい。

※高齢者とペットの共生問題に関心がある方は、どなたでも参加していただけます。



▲新パンフレット

共同学習会参加申請はこちら



【共同学習会】

- ・月1回開催（毎月第4火曜日）
- ・録画配信あり
- ・参加費 1,000円/月

問題行動の解決援助事業 — ぎふ動物行動クリニック —

文：鶴海敦士

今日までの活動状況

昨年度は新たに行動診療科獣医師として鶴海を雇用しました。半年間は主に奥田の診療補助を行い、徐々に軽度のものから鶴海が診療を担当し、診療技術の向上を図りました。現在は基本的に鶴海が診療を担当し、不在時は奥田が診療する形態となっています。従来同様、依頼された症例がトレーニングを必要とする場合、都度田中トレーナーと連携をとりながら解決援助を実施しています。昨年度の診察実績は新規診察が127件と、2018年度の125件と同程度でした。

また、東海地方2人目（全国で10人目）となる日本獣医動物行動研究会の認定医資格取得に向け、症例を積み重ね、学会発表を行い、認定医試験申請を終えました。書類審査の結果が7月に発表され、9月に認定医試験が実施されます。

学会発表は、2020年2月に開催された日本獣医内科学アカデミー学術大会（JCVIM）で「行動診療科における遠隔診療の課題と有用性」という演題で発表させていただきました。これに伴い、獣医療のオンライン診療について朝日新聞社から取材を受け、2020年5月19日付の夕刊に掲載されました。

新型コロナウイルスにかかる診療実態の変化

今日までに新型コロナウイルスの影響によって、動物を含めた家庭でのライフスタイルの変化がみられましたが、それに伴い精神的な負担を強いられるペットが増加しているように思われます。特にここ最近の診療に際して、相談される問題行動のキッカケや増悪のタイミングを伺うと、新型コロナウイルスの拡大が顕著になった3月～4月であることが多く、要因としては、家族が家にいる時間が長くなった、外に連れ

て行く機会が減った、飼い主さんが先行きに不安を感じている、などが考えられます。今後、新型コロナウイルスの流行が続けば続くほど課題を抱える動物が増え、尚且つ安心して診療にも罹れないという状況に陥ると思われまじし、今後全く別の感染症のパンデミックが起こらないとも限りません。

そこで、オンライン診療はこの課題解決の一助になり得ると思われまじし。獣医療におけるオンライン診療はまだ農林水産省がその指針を明確に示しておらず、実施する動物病院も散見されますが実施状況はそれぞれ異なり、初診から実施することは違法となり得まじし。しかし、診断も処方もしないカウンセリングのみであれば診療には該当せず、実施可能と解釈されます。各種検査や診断・処方が必要だと考えられる場合は、都度かかりつけの動物病院などと連携しなければなりません。

オンライン診療は動物の状態を把握することは得意としておりませんが、動物の行動や生活環境を確認する上で、リアルタイムに家での動物の様子を確認できる方法は有益なため、カウンセリングが診療のメインとなる行動診療科においてはその相性は良いと感じまじし。また、行動診療科を実施する動物病院は全国的にまだまだ少ないため、離島や僻地などを含めた行動診療科に気軽にかかれないう方々にも、その機会を設けられる良さがあまじし。

今後、農林水産省によって獣医療におけるオンライン診療の指針が定められることで、オンライン診療が必要な方に堂々と実施できるよう期待まじし。

2020年度の活動方針

従来通り直接の対面診療を主軸とし、どうしても対面診療にかかれないう緊急性が高い症例に関してはオンラインでのカウンセリングを実施まじし。また、9月の認定医試験に向け勉強に励み、日々の診療で出会う動物たちからも多くを学び、過去の文献を参照することで知見を深め、より良い行動診療が実施出来るように今後に活かまじし。

三重大学学生サークル^{ドット}DOTによる ペット防災カレンダー

ペットとの防災・減災活動では、様々な団体が活動しています。三重県では、三重大学の学生を中心とした学生サークルDOTが、「ペット防災カレンダー」の作成に向けて活動を行っています。

DOTの代表・副代表を務める浦野さんと山下さんは、犬と猫が人と幸せに生きる社会を目指して、2019年にDOTを立ち上げ活動されています。代表の奥田も元々は2007年に学生団体を立ち上げたことが活動の契機ということもあり、昨年秋ごろから、意見交換させていただいてまじし。

2020年6月から、カレンダー作成に向けた、クラウドファンディングを実施予定です。会報誌が届くタイミングに間に合わないうかもしれませんが、もし間に合ったら、是非、皆様の応援を送ってあげてください！「ペット防災カレンダープロジェクト」で検索！

▼クラウドファンディングサイトの説明より

犬や猫の写真とともに、ペットの防災格言を載せたカレンダーを制作まじし。（中略）また、ペット防災に関するワークショップ

をオンラインで開催し、参加した方々と一緒にカレンダーに載せる防災格言を考えたいと思っています。これは、カレンダーを専門家だけが作り上げるものではなく様々な人の意見を反映した、皆さんと一緒に作り上げる形のカレンダーにしたいからです。

さらに、ペットを飼っている人も飼っていない人も、ペットの防災を真剣に考える機会が出来るのではないかと考えています。完成したカレンダーは、三重県津市のペットショップや動物病院などに置かせてもらい、そこから飼い主さんに手に取ってもらうようにまじし。こうすることで、飼い主さんだけでなくペットショップや動物病院の方にもペット防災を考えてもらえると考えまじし。また、カレンダーを手にとってもらった飼い主さんには、実際にカレンダーを活用することで、防災を堅苦しいものと捉えずに気軽に学んでもらえることが期待まじし。

いつ来てもおかしくない南海トラフ地震。今回のプロジェクトを通して、ペットの防災も真剣に考えていただき、楽しく防災の準備をしてほしいと思っています。

カレンダーのイメージ▶
※実際のものではありません

僕も連れて行ってにゃ

猫と一緒に避難する時のために、専用のキャリーバッグを用意しておまじししょう。普段からキャリーバッグに慣らしておくことも、とても重要です。

12
日 月 火 水 木 金 土 日
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31



野外繁殖抑制事業
 - 猫問題解決ボランティア育成プログラム -

文：鈴木恵美子

猫問題解決ボランティア 育成カリキュラムが始まります！

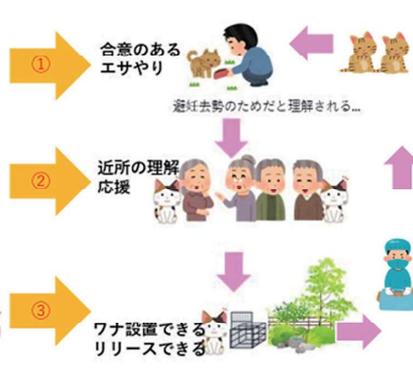
2019年度は「岐阜市野良猫意見交換会」「長良川猫パーティ」を開催し、岐阜市保健所の方、市議会議員、ボランティアの皆さんと現在の岐阜市の野良猫を取り巻く状況について意見を交わし、野良猫の問題を解決する手段である、TNR、地域猫活動がなぜ広まらないのか、どうしたら広まるのかという仮説をたてました。活動を進めていくためには大きく「周囲の理解」「猫問題についての知識」「資金」の3つが重要ではないかという意見がありました。そのうちの「資金」については岐阜市の助成金や猫の不妊専門クリニックを活用することで大きく軽減されると考えられます。さらに活動をするボランティアの方々が地域の理解を得て、猫の捕獲、不妊処置について知識と技術のスキルアップをすることでより継続性と効果が増してくると期待できます。今年度は「猫問題解決ボランティア育成プログラム」という猫の生態、捕獲、管理、TNR、地域猫についてなどを組み込んだプログラムで勉強会を開催し、現在ボランティア活動をしている方と野良猫について関心のある方のスキルアップを目指していきます。



猫問題やりにくいループ



猫問題やりやすいループ



プログラムで勉強会を開催し、現在ボランティア活動をしている方と野良猫について関心のある方のスキルアップを目指していきます。個々のスキルアップはもちろんですが、共に問題解決を目指す仲間として繋がりをつくることも目的としています。また、この取り組みでは保健所での殺処分数ではなく、路上で轢死してしまった猫の遺体回収数（ロードキル数）に注目するため、一昨年行った全国ロードキル調査を再度行い、活動の規模とその結果がどう変化していくのかを追っていきたくと考えています。

CSR推進

- ペット産業のCSR推進に関する進捗状況 -

文：奥田順之

昨年は、動物愛護管理法改正がありました。これを受けて、主にブリーダーなどでの飼育管理における数値規制に関して、環境省が設置する検討会での検討が進められています。

こうした動きに関連して、犬猫適正飼養協議会が、業界の自主的な飼育管理基準を定めるためのガイドブック作成をしようという動きがあり、代表の奥田が依頼を受け、監修させていただきました。また、合わせて、「獣医師を対象とした、数値規制に関するアンケート調査」を実施し、報告させていただきました。(http://human-animal.jp/csr/1652)

数値規制というトピックに関わる中で、やはり、動物愛護を進めたい人と、ペット業界の中の人では、大きな溝があるということです。双方とも、今より良くしていこうという方向性その物は一致していますが、現状からの積み上げで変化していこうとする業界側と、理想的な状況を目指す愛護側では、まだまだ大きな温度差があります。

数値規制については、今後、政治的な決着において、一定の数値が出てくることとなります。それに合わせて、廃業するブリーダー／ショップもいるでしょうし、廃業の穴を埋めるように繁栄する業者もいるでしょう。大きな変化が起こることは、業界の新陳代謝を生むことに繋がります。新陳代謝が、より良い責任を果たせる業界への進化の材料になるように働きかけを行っていきたくと思います。

その具体例の一つとして、当団体では、主に犬のしつけ面／飼い主指導面において、大手ペットショップ系列から助言を求められる場面が増えてきています。飼い主への指導や助言は、ペットショップの社会的責任として非常に重要な位置を占めます。その改善・進化のお手伝いをしていくことで、ペットショップがより適切に責任を果たせるように、サポートしていきたくと考えています。

2019年度決算報告

全科目損益三期比較表

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日 (決算)

勘定科目	2017年度	2018年度	2019年度	構成比 (2019年度)	2018年度 / 2017年度	2019年度 / 2018年度
612 売上高	31,371,186	35,128,332	34,247,710	92.8	112	97.5
613 正会員会費	200,000	250,000	340,000	0.9	125	136
614 賛助会員会費	348,000	435,000	423,000	1.1	125	97.2
615 受取寄付金	989,613	181,940	849,257	2.3	18.4	466.8
616 受取助成金	1,600,000	1,200,000	940,000	2.5	75	78.3
911 受取利息	67	88	118	0	131.3	134.1
914 雑収入		37,280	91,603	0.2		245.7
【純売上高計】	34,508,866	37,232,640	36,891,688	100	107.9	99.1
721 期首材料棚卸高	1,716,986	4,145,692	2,575,341	7	241.5	62.1
712 売上原価	5,793,414	2,593,517	3,176,201	8.6	44.8	122.5
725 期末材料棚卸高	4,145,692	2,575,341	3,215,135	8.7	62.1	124.8
(材料費計)	3,364,708	4,163,868	2,536,407	6.9	123.8	60.9
731 役員報酬(事業費)	2,723,000	2,763,600	3,318,400	9	101.5	120.1
732 給料(事業費)	10,064,656	9,870,084	12,108,380	32.8	98.1	122.7
734 賞与(事業費)	440,000	582,000	742,500	2	132.3	127.6
736 法定福利費(事業費)	1,297,383	1,783,367	2,045,458	5.5	137.5	114.7
737 福利厚生費		30,347	32,005	0.1		105.5
(労務費計)	14,525,039	15,029,398	18,246,743	49.5	103.5	121.4
744 諸謝金(事業費)	548,002	1,545,641	73,710	0.2	282.1	4.8
756 印刷製本費(事業費)	293,091	347,598	654,802	1.8	118.6	188.4
733 会議費(事業費)	7,592		42,124	0.1		
742 旅費交通費(事業費)	773,600	1,032,725	337,407	0.9	133.5	32.7
743 通信運搬費(事業費)	399,193	426,186	440,510	1.2	106.8	103.4
752 消耗品費(事業費)	502,637	564,164	792,504	2.1	112.2	140.5
757 広告宣伝費(事業費)	450,655	518,370	629,997	1.7	115	121.5
751 交際費(事業費)	243,855	18,138	31,145	0.1	7.4	171.7
749 水道光熱費(事業費)	263,265	313,561	149,296	0.4	119.1	47.6
750 寄付金(事業費)		248,545	454,026	1.2		182.7
763 地代家賃(事業費)	2,142,000	2,244,000	2,284,000	6.2	104.8	101.8
746 賃借料(事業費)	359,470	160,432	373,215	1	44.6	232.6
745 減価償却(事業費)	999,727	1,009,702	1,149,175	3.1	101	113.8
747 保険料(事業費)			5,040	0		
759 諸会費(事業費)	6,080	196,000	177,150	0.5	999.9	90.4
753 租税公課(事業費)	18,445	144,925	43,860	0.1	785.7	30.3
735 研修費(事業費)	222,540	225,100	72,652	0.2	101.2	32.3
758 支払手数料(事業費)	554,386	532,284	672,841	1.8	96	126.4
761 新聞図書費(事業費)	133,954	151,804	87,968	0.2	113.3	57.9
769 雑費(事業費)		364,120				
(経費計)	7,918,492	1,0043,295	8,471,422	23	126.8	84.3
【当期製品製造原価】	25,808,239	2,9236,561	29,254,572	79.3	113.3	100.1
【売上原価】	25,808,239	2,9236,561	29,254,572	79.3	113.3	100.1
【売上総利益金額】	8,700,627	7,996,079	7,637,116	20.7	91.9	95.5
831 役員報酬	1,167,000	1,184,400	829,600	2.2	101.5	70
832 給与手当	424,668	668,671	877,606	2.4	157.5	131.2
835 研修費		81,800				
836 法定福利費	129,917	189,950	153,842	0.4	146.2	81
842 旅費交通費	37,800	89,350	173,205	0.5	236.4	193.9
843 通信運搬費	76,305	114,740	268,821	0.7	150.4	234.3
852 消耗品費	276,278	204,311	171,736	0.5	74	84.1
849 水道光熱費	46,458	55,334	26,347	0.1	119.1	47.6
863 地代家賃	427,500	396,000	396,000	1.1	92.6	100
857 広告宣伝費	17,517	17,517	130,419	0.4	100	744.5
846 賃借料	168,480	170,430	168,480	0.5	101.2	98.9
847 保険料	44,310	114,090	113,160	0.3	257.5	99.2
848 修繕費			188,180	0.5		
856 事務用品費	525,188	446,431	451,968	1.2	85	101.2
861 新聞図書費	41,130	97,924	116,005	0.3	238.1	118.5
867 印刷製本費	141,000	213,250	183,980	0.5	151.2	86.3
853 租税公課	1,206,207	1,315,925	1,446,690	3.9	109.1	109.9
859 諸会費	176,550	36,350	93,475	0.3	20.6	257.2
845 減価償却費	176,422	178,182	177,429	0.5	101	99.6
921 支払利息割引料	328,669	283,286	261,141	0.7	86.2	92.2
869 雑費	1,073,232	605,960	632,453	1.7	56.5	104.4
【販売管理費計】	6,484,631	6,463,901	6,860,537	18.6	99.7	106.1
【営業損益金額】	2,215,996	1,532,178	776,579	2.1	69.1	50.7
【経常損益金額】	2,215,996	1,532,178	776,579	2.1	69.1	50.7
【税引前損益金額】	2,215,996	1,532,178	776,579	2.1	69.1	50.7
【当期損益】	2,215,996	1,532,178	776,579	2.1	69.1	50.7

事業部門別損益の状況

税込 (単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業											その他の事業		事業部門計	管理部門	合計
	伴侶動物のしつけ教室の企画運営事業	伴侶動物の問題行動の解決援助事業	伴侶動物の飼育方法についての情報提供事業	人と動物の共生に関する社会教育事業	自然災害等に備えた、人と動物の防災事業	ペット後見互助会事業	人と動物の共生に関する調査、研究事業	野外で繁殖する動物の抑制事業	ペット産業の社会的責任推進のための調査、研究、提言事業	動物の保管に関する事業	物品販売に関する事業					
経常収益																
受取会費	0	0	0	0	210,000	0	0	213,000	0	0	0	0	0	423,000	340,000	763,000
受取寄付金	0	0	0	0	458,242	21,000	0	135,835	234,180	0	0	0	0	849,257	0	849,257
受取助成金	0	0	0	0	200,000	720,000	0	0	0	0	0	0	0	920,000	20,000	940,000
事業収益	21,777,083	4,851,702	1,920,249	126,990	19,380	183,000	0	0	135,956	2,060,980	3,172,370	3,172,370	0	34,247,710	0	34,247,710
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118	118
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91,603	91,603
経常収益計	21,777,083	4,851,702	1,920,249	126,990	887,622	924,000	0	348,835	370,136	2,060,980	3,172,370	3,172,370	0	36,439,967	451,721	36,891,688
【経常費用】																
(1) 人件費																
役員報酬	1,244,400	829,600	207,400	207,400	207,400	414,800	0	0	207,400	0	0	0	0	3,318,400	829,600	4,148,000
給料手当	8,498,035	1,020,033	609,242	0	0	850,028	0	307,070	0	593,447	230,525	12,108,380	877,606	12,985,986		
従業員賞与	634,500	0	67,500	0	0	0	0	0	0	40,500	0	0	0	742,500	0	742,500
法定福利費	1,375,513	236,348	116,811	27,432	27,432	160,381	0	1,087	39,855	59,777	822	2,045,458	153,842	2,199,300		
福利厚生費	32,005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,005	0	32,005
人件費計	11,784,453	2,085,981	1,000,953	234,832	234,832	1,425,209	0	308,157	247,255	693,724	231,347	18,246,743	1,861,048	20,107,791		
(2) その他経費																
売上原価	0	801,716	0	0	0	0	0	0	238,721	0	1,495,970	2,536,407	0	2,536,407		
諸謝金	0	0	0	0	5,400	0	0	25,110	43,200	0	0	73,710	0	73,710		
印刷製本費	79,909	0	125	0	157,400	417,368	0	0	0	0	0	654,802	183,980	838,782		
会議費	0	0	29,434	0	0	1,810	0	0	0	10,880	0	42,124	0	42,124		
旅費交通費	181,200	31,041	58,116	0	2,260	18,190	0	24,900	6,050	1,250	14,400	337,407	173,205	510,612		
通信運搬費	160,925	43,149	14,165	858	8,404	169,849	0	2,357	3,041	13,928	23,834	440,510	268,821	709,331		
消耗品費	356,753	71,637	27,559	2,066	229,567	9,068	0	18,176	3,633	25,745	48,300	792,504	171,736	964,240		
広告宣伝費	332,880	33,000	65,117	0	0	199,000	0	0	0	0	0	629,997	130,419	760,416		
交際費	0	5,000	22,295	0	3,850	0	0	0	0	0	0	31,145	0	31,145		
水道光熱費	122,950	8,782	0	0	0	0	0	0	0	8,782	8,782	149,296	26,347	175,643		
寄附金	0	0	0	0	196,826	0	0	0	0	0	257,200	454,026	0	454,026		
地代家賃	1,848,000	132,000	0	0	40,000	0	0	0	0	132,000	132,000	2,284,000	396,000	2,680,000		
賃借料	0	0	335,580	2,400	0	35,235	0	0	0	0	0	373,215	168,480	541,695		
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188,180	188,180		
事務用品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	451,968	451,968		
減価償却費	827,999	59,142	0	0	143,750	0	0	0	0	59,142	59,142	1,149,175	177,429	1,326,604		
保険料	0	0	0	0	5,040	0	0	0	0	0	0	5,040	113,160	118,200		
諸会費	0	139,000	23,000	0	10,000	0	0	0	5,150	0	0	177,150	93,475	270,625		
租税公課	36,120	2,580	0	0	0	0	0	0	0	2,580	2,580	43,860	1,446,690	1,490,550		
研修費	53,500	0	12,000	6,152	0	0	0	0	1,000	0	0	72,652	0	72,652		
支払手数料	401,303	90,381	35,456	2,345	16,389	17,061	0	6,441	6,834	38,055	58,576	672,841	0	672,841		
新聞図書費	14,966	51,749	0	0	0	0	0	16,500	4,753	0	0	87,968	116,005	203,973		
支払利息割引料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	261,141	261,141		
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	632,453	632,453		
その他経費計	4,416,505	1,469,177	622,847	13,821	818,886	867,581	0	93,484	312,382	292,362	2,100,784	11,007,829	4,999,489	16,007,318		
経常費用計	16,200,958	3,555,158	1,623,800	248,653	1,053,718	2,292,790	0	401,641	559,637	986,086	2,332,131	29,254,572	6,860,537	36,115,109		
当期経常増減額	5,576,125	1,296,544	296,449	△121,663	△166,096	△1,368,790	0	△52,806	△189,501	1,074,894	840,239	7,185,395	△6,408,816	776,579		

※役員報酬、給与手当、従業員賞与、法定福利費については活動実績割合で按分しております。
 ※通信運搬費、消耗品費、支払手数料については使用実績割合で按分しております。
 ※地代家賃、水道光熱費、減価償却費、租税公課については占有割合で按分しております。

貸借対照表

令和2年3月31日現在 税込 (単位:円)

科目	資産の部		負債・正味財産の部	
	金額	金額	金額	金額
【流動資産】			【流動負債】	
現金・預金	現金 当座預金 普通預金	316,317 1,387,918 12,916,334	買掛金 未払金 未払消費税等	29,607 2,000,838 738,800
	現金・預金計	14,620,569	預り金	86,413
営業債権	売掛金 未収入金	1,953,406 56,056	前受金 仮受金	6,000,000 46,000
	営業債権計	2,009,462	流動負債計	8,901,658
棚卸資産	棚卸資産 貯蔵品	3,215,135 8,547	【固定負債】 長期借入金	13,403,000
	棚卸資産計	3,223,682	固定負債計	13,403,000
その他流動資産	立替金 前払費用	89,600 157,500	負債の部合計	22,304,658
	その他流動資産計	247,100	正味財産の部	
流動資産合計		20,100,813	【正味財産】 前期繰越正味財産額 当期正味財産増減額	9,877,509 776,579
【固定資産】			正味財産計	10,654,088
有形固定資産	建物 構築物 機械装置 車両運搬具 一括償却資産	9,795,194 786,488 2,156,250 1 0	正味財産の部合計	10,654,088
	有形固定資産計	12,737,933		
投資その他資産	差入保証金	120,000		
投資その他の資産計		120,000		
固定資産合計		12,857,933		
資産の部合計		32,958,746	負債・正味財産の部合計	32,958,746

それぞれの想い

人と動物の共生センターには、たくさんの方が関わり、人と動物の良き共生を歩めるように活動しています。14回目となる今回は、小池達也さんに活動に対する想いを教えて頂きました。

人と動物の共生センターと初めて出会ったのは、2013年の冬。私は当時、地元の東京を離れて、名古屋に越してきた新卒1年目でした。大学院で専攻していた環境調査の企業に就職したものの、自分の目指していた持続可能な社会づくりに近づいている手応えが得られない。生き方や働き方に迷っていた時に、ふと目についたのが、名古屋NGOセンターが主催していた「ESD ファシリテーター育成プログラム」。持続可能な開発のための教育、という言葉に惹かれて参加したとき、このプログラムに協力団体として参加していたのが、人と動物の共生センターの代表理事・奥田順之さんでした。ほくはプログラムの受講者の1人として、奥田さんの意見を参考にしながら、共生センターの活動を紹介するワークショップを企画・実施しました。NPOやファシリテーターといった初めて聞く言葉とともに、年齢が近いにもかかわらず立派な活動をされている奥田さんの存在に、とても刺激を受けたことを覚えています。(ちなみに2014年の受講者には、現スタッフの鈴木恵美子さんがいましたね。)

その後、名古屋市内のNPOに転職した私は、「東海若手起業塾」という社会起業家支援プログラムの運営にも携わるようになります。ここでも奥田さんは卒業生として関わっており、イベントの登壇などでご協力いただきました。2016年頃からはNPOの評価について奥田さんと議論したり、事業評価のトライアルにご協力いただいたり、

CSR推進事業に参加させていただいたり、様々な形で関わる機会をいただけてきました。

ファシリテーターという役割から、また環境問題という分野からNPOに興味を持った私にとって、「対話」は非常に重要な意味を持ちます。人と動物の共生センターもまた、飼い主とペットの対話や、愛護団体とペット産業の対話を、さまざまなコミュニケーションによって促していく活動をされており、その姿勢や取り組みに共感しています。今後は監事として、私自身が監査にあたることに加えて、共生センターに関わるさまざまな人々との対話とふりかえりの機会をつくることで、団体の活動に貢献したいと考えています。

最後に、動物との関わりについて少しだけ紹介します。犬は飼ったことがありません。実家では、猫を1匹、小鳥を6羽くらい飼っていました。猫とも小鳥ともたくさん遊んでもらい、一緒に住むと家族になるんだな、と強く感じたことを覚えています。今は2歳と4歳の娘2人で手いっぱいですが、もうすこし大きくなったら、何か飼ってもいいなと思っています。



ご支援をくださった皆様

2019年12月1日～2020年5月31日まで(敬称略・順不同)

たくさんの方からご支援いただきありがとうございます。本会の活動のは、皆様からの想いと真心によって支えられております。今後とも、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- | | | | | | | |
|------------------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| 杉浦 由美 | 柳沢 文代 | 伊藤麻衣子 | 浦西かおる | 永田かおり | 加村 有香 | 加藤 章子 |
| 河内 岳史 | 岩田 貴子 | 吉田 美里 | 吉田 梢 | 境 貴昭 | 後 将也 | 高島久美子 |
| 合同会社 ねころぼ | | 今 まどか | 今井 宏昭 | 根津 美保 | 佐渡友陽一 | 榊原 ゆり |
| 山岸建太郎 | 山田 智子 | 柴田 雅代 | 洲崎ゆかり | 助口 茜 | 小西 幸子 | 小林 優子 |
| 松原 美紗 | 松本 晃子 | 松本 智行 | 深尾 希和 | 水野 聡 | 清水 佳恵 | 先崎 直子 |
| 千村 収一 | 千村 晶子 | 千村 直輝 | 川田まなみ | 川島 知司 | 前田 純子 | 足立亜沙香 |
| 大岡 厚子 | 瀧 典子 | 池迫 美香 | 中嶋千江子 | 塚本 倫子 | 塚本 伸子 | 坪内 典子 |
| 田坂あや子 | 田代 友紀 | 渡辺 英毅 | 渡辺 智子 | 土森 正明 | 藤井 久美 | 内田 恵子 |
| 内藤しまこ | 埜口 麻穂 | 梅本 崇司 | 薄葉 文香 | 畑 淑子 | 八木 理江 | 富田 裕子 |
| 片田 恵子 | 北原 純子 | 北村 優 | 木村 容子 | 野坂 祥子 | 林 宏典 | 廣瀬 恵 |
| 鷗海 敦士 | 鈴木恵美子 | 原田 浩光 | 金子 典代 | 株式会社 Cuun | | 市川 公一 |
| 有限会社チムラアニマルクリニック | | | 小島 寛司 | 石部 大史 | 味岡 智子 | 田中 利幸 |
| ワンズライフ | 中谷 明美 | 中谷 圭 | 奥田 奈美 | 奥田 順之 | 遠山 真人 | 須崎 隆久 |
| 烏 寧奇 | 島田由紀子 | 西岡 治紀 | | | | |

人と動物の共生センターの活動に

ご参加 ご支援 ご活用 ください

人と動物の共生センターでは、人と動物が共生できる社会づくりに向けて活動を行っております。活動へのご参加・ご支援につきましては、随時募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。また、人と動物の共生センターに仕事（講演・研修等）を依頼したいという場合にも、是非ご活用いただけましたら幸いです。

ご支援ください

■賛助会員募集

人と動物の共生センターの活動を支援していただく、賛助会員を募集しております。認定NPO法人取得を維持する関係から、年間100人以上の賛助会員が必要となります。賛助会費は活動の中でも『ペット防災』『野外繁殖抑制』の分野に利用させていただきます。

■年会費：3000円/口
(複数口も承っております)

■ご寄付募集

賛助会員だけでなく、ご寄付も募集しております。ご寄付いただけます場合は、下記口座までお振込みのほどよろしくお願いいたします。

【郵便振替口座記号番号】

00800-6-123387

【加入者名】

特定非営利活動法人
人と動物の共生センター



▲QRコードから
クレジット決済できます

税制優遇が受けられます！

個人が認定NPO法人等に寄附をする場合

個人が認定（特例認定）NPO法人に寄附すると、所得税の計算において、寄附金控除（所得控除）又は税額控除のいずれかの控除を選択適用できます。また、岐阜県では認定（特例認定）NPO法人に個人が寄附をすると、個人住民税の計算において、県民税4%、市町村民税（ただし、各市町村の条例で定めている場合に限る）6%の寄附金税額控除が適用されます。（確定申告が必要です）

例）年収300万円の方が1万円寄付した場合

■所得控除計算例

所得税 10,000円 - 2,000円 × 5% = 400円
住民税 10,000円 - 2,000円 × 10% = 800円

合計 1,200円の控除

■税額控除計算例

所得税 10,000円 - 2,000円 × 40% = 3,200円
住民税 10,000円 - 2,000円 × 10% = 800円

合計 4,000円の控除

※岐阜県にお住まいの方の所得控除と税額控除の比較です。控除には限度があり、実際の税額はケースにより異なります。

ペット産業CSR白書のご購入

Amazonにて販売中

ペット産業のCSRを推進する事を目的に発行された【ペット産業CSR白書-生体販売の社会的責任-】は、4題の独自調査し、「ペット産業従事者アンケート」では、ペット産業従事者自身が考える生体販売の課題を検討し、「子犬の適正価格シュミレーション」では、ブリーダーへのヒアリングから得られた情報を元に、健全な子犬を育てるための必要経費を試算した。

この他、余剰犬猫問題の構造の考察、余剰動物問題と環境問題の比較、ペット産業のCSR推進のための提言など、ペット産業のCSRの今後の方向性を考えるための情報がまとめられている。ペット産業が動物福祉に配慮した産業に変化していくための方法を考える上での基礎情報を提供している。



お問い合わせ・連絡先

認定特定非営利活動法人 人と動物の共生センター

〒500-8225 岐阜市岩地二丁目4-3

【TEL】058-214-3442 【E-mail】info@tomo-iki.jp 【HP】http://human-animal.jp/